

# Moshi- Mosu

もっと知れば、  
もっと好きになる！  
長岡京市の歴史・文化財

V

Vol.23  
2023  
SUMMER



## Stories.

このまちの物語。

まちをかたちづくる山や川。それらを彩る草木。古き時代から続く街道には昔の足跡、古い建物には歴史が息づく。人々の喜びや悲しみが刻まれた駅には別れと再会が交錯し、商店街や田畑には人々の暮らしと文化がある。四季折々の移り変わりが見られる自然と調和した美しい景色、寺や神社、人々の心を癒す場所があちらこちらに共存するこの土地には、ここで生きる人々の思いや夢が詰まっている。このまちが、私たちにとって特別な場所である理由はそこにある。

このまちには物語がある——。

私たちはその一部として、それを紡ぎ続ける。未来を担う人々にとって、特別な場所であり続けることを祈りながら。

7 stories  
8 visions  
4 policies



歴史文化×めぐる。  
長岡京市文化財保存活用戦略計画

ものがたり。  
このまちの、

京都盆地の西の玄関口、交通の要衝として栄え、街道沿いの民家や道標などが今に歴史を伝えます。現在も、その利便性により、ベッドタウンと産業が共存しています。

### 1 要衝の地

- 河川・街道・鉄道、交通の結節
- 長岡京市の歴史文化の基層



- 中央政権の縮図、乙訓古墳群
- 古代人の営みを伝える集落跡

### 2 大王の息吹

古墳時代、大小さまざまな古墳がつくられ、現在もその息吹を体感することができます。当時の暮らしがわかる遺跡も数多く見つかっています。



518年に「弟国宮」、784年に「長岡京」と2度にわたって都が置かれました。幻の都の解明に人生を捧げた、中山修一氏の記念館も市内にあります。

### 3 長岡京王城

- 碁盤状街区とその遺構
- 都の暮らしを伝える出土遺物



- 洛外西山とその麓に広がる信仰
- 都名所図会等に描かれた風景

### 4 信仰と遊観の地

勝龍寺や楊谷寺、乙訓寺、光明寺、長岡天満宮など、信仰の地として、江戸時代の復興以降は周辺環境も含めた遊観の地として、多くの人々に親しまれています。



戦国時代、周辺地域とともに西岡と呼ばれる連帯により暮らしが営まれました。細川藤孝が入った勝龍寺城は、山崎合戦で明智光秀の拠点となり、天下統一の舞台となりました。

### 5 戦乱の舞台

- 西岡衆による自治、乙訓惣国
- 細川藤孝の西岡支配と勝龍寺城



- 京都郊外の地域的・歴史的特徴
- 伝統行事・食文化・農産物などに見る豊かな暮らし

### 6 京都近郊農村

京都の近郊農村として都を支えながら、地域ならではの庶民文化や伝統行事、食文化などが生まれました。また、用水確保やそれにまつわる歴史文化も残っています。



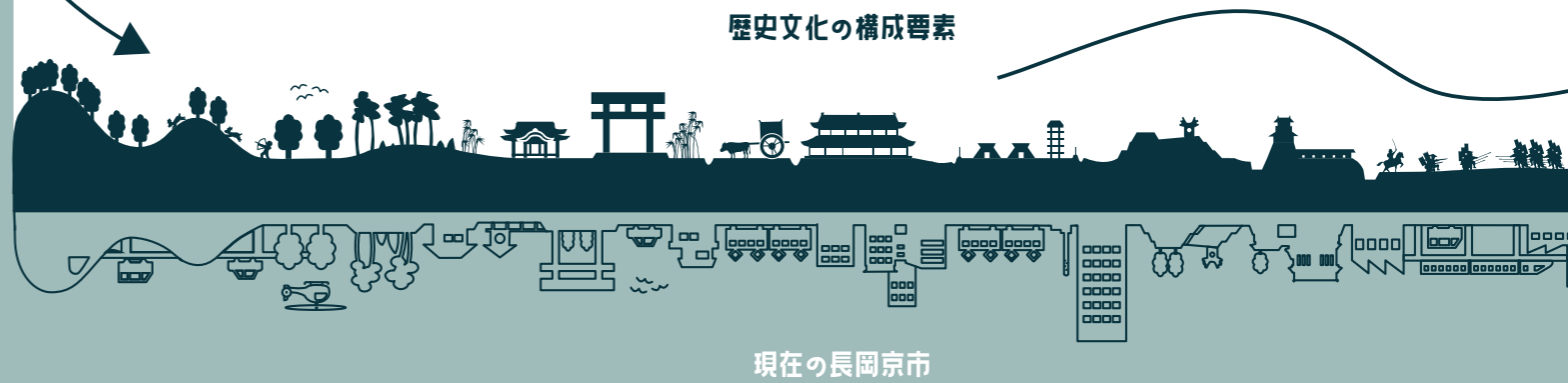
乙訓地域の竹は竹材として古くから利用され、またモウソウチクの良質なタケノコは京都式軟化栽培により本市を代表する特産物として、現在も広く知られています。

### 7 竹とタケノコ

- 古代にさかのぼる竹との関係史
- 継承されるタケノコ栽培文化



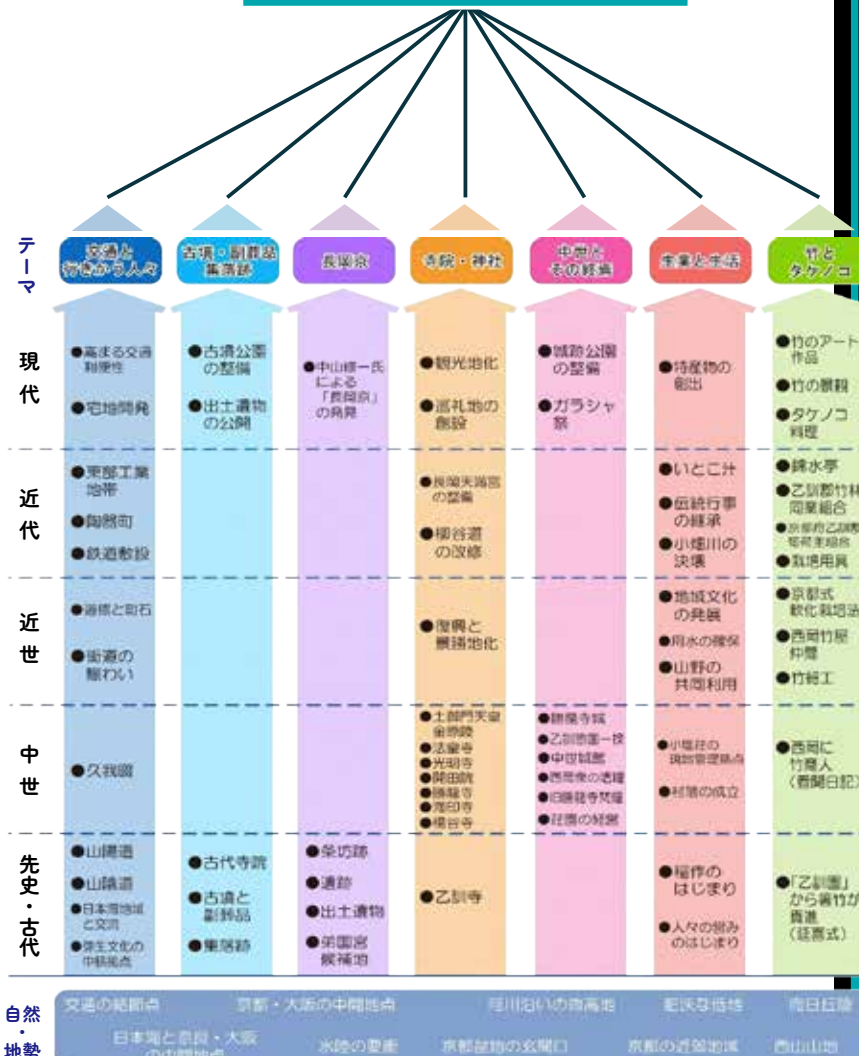
長岡京市には、古墳や城、寺、神社など様々な文化財がまちじゅうに点在しています。その一つひとつの価値や魅力を最大限に活かすため、『長岡京市文化財保存活用地域計画』では、時代の枠を超え、自然や地勢、歴史、文化、文化財から本市の特色やテーマとなるキーワードを導き出し、7つのストーリーとしてまとめました。人とモノ、文化をつなぐこのまちだからこそ、巨大な古墳が造られ、王城の地となり、京都の繁栄を支えた人々の営みや信仰、文化があります。このような素晴らしい歴史文化を共有するだけでなく、組み合わせや繋がり方は人それぞれ無限大につくっていきます。この機会に「このまちの物語」を考えてみましょう。



STORIES.  
STORIES.

さあ、このまちの物語を  
探検してみましょう！

本市の歴史文化の特徴を  
「7つのものがたり」  
にまとめました。



# Topic!

令和5年度より始まる「長岡京市文化財保存活用地域計画」。キックオフをはじめ、様々な取組が開始されます。乞うご期待！詳細は広報紙やホームページをチェックしてね。

## 長岡京市文化財保存活用地域計画

キャッチフレーズは

歴史文化 × めぐる！かしくしくなまちせんと(遷都)！



長岡京市には、国や京都府、長岡京市によって指定・登録・決定されている文化財が、計161件あります(R5年3月現在)。また、指定等はされていないものの、調査によって把握されている文化財は1000件以上にのぼります。こうした本市の歴史文化を、未来へ大切に引き継いでいくためには、行政だけでなく多様な主体が連携し、誰もが文化財に親しみ、その価値や魅力をともに磨きながら次世代へつなげていく取り組みが必要です。そこで、歴史文化の特徴をわかりやすくするため、【7】つのものがたり、【8】つのビジョン、【4】つの基本方針にまとめました。今後は、歴史文化を中心として、つながり交わる、様々な人々の活動や思いを大切にしながら、歴史文化かけめぐるまちづくりへの取り組みを進めていきます。



詳細はこちらへ

### このまちに隠された物語を発見しよう！

例えば、現在もまちの魅力の上位である「交通の利便性」は、実は歴史や文化財との強い結びつきがあります。歴史的なトピックや発掘された遺物だけでなく、信仰や生業もストーリーを形づくる重要な歴史・文化・文化財のキーワードです。



中山修一

### Discover the stories within !

表紙：左から神足ふれあい町家、恵解山古墳、長岡京跡発掘調査、八条ヶ池、勝竜寺城公園、今里の粟花畑、奥海印寺の竹林

7stories  
8visions  
4policies

歴史文化×めぐる。  
長岡京市文化財保存活用地域計画

私たちは長岡京市の歴史・文化・文化財の保存と活用に協力しています。

※長岡京遷都の年、「784年」への想いを込めています。

『長岡京市文化財保存活用地域計画』のロゴマークをつくりました。皆さん、ご活用ください。

